# 個人投資家様向け会社説明会

2024年9月6日

株式会社小田原機器（東証スタンダード 7314）
代表取締役社長　丸山明義

# 自己紹介

代表取締役社長

まるやま　あきよし

**丸山　明義**

| | |
|---|---|
| 1981年 | （株）小田原機器　入社 |
| 1997年 | 関西営業所長 |
| 2013年 | 営業部長 |
| 2014年 | 取締役 営業部長 |
| 2016年 | 常務取締役 営業部長 |
| 2019年 | 代表取締役社長（現職） |

# 本日のプログラム

1. 会社概要
2. 事業セグメントと強み
3. 成長戦略と業績計画
4. 資本効率の向上と株主還元
5. サステナビリティ方針

# 本日のプログラム

1. **会社概要**
2. 事業セグメントと強み
3. 成長戦略と業績計画
4. 資本効率の向上と株主還元
5. サステナビリティ方針

# 企業理念

**社是「開拓の精神で社会に奉仕する」のもと、つねに世の中に新しい商品とサービスを提供し、社業を通して社会に貢献します。**

## 社是

開拓の精神で社会に奉仕する

「開拓の精神」
とは、つねに世の中に新しい商品・サービスを提供し、社会に貢献することである。

「社会に奉仕する」
とは、われわれが日々行っている社業を通して社会の向上・発展に尽くしていくことである。

## 小田原機器グループ経営ビジョン

地域社会の人びとの暮らしを支える、公共交通インフラづくりに
DXソリューションで貢献するONLY ONE企業を目指します

# 会社情報

## 社名

**小田原機器株式会社**

創業：1950年10月
設立：1979年10月
本社：神奈川県小田原市

経団連会員
2024年4月1日入会

## 上場市場

**東証スタンダード市場**
（証券コード 7314）

2009年3月上場
（旧東証JASDAQ）

## 事業内容

**運賃収受・キャッシュレス決済**
**地域交通活性化コンサルティング**
**技術サービス**

従業員数：185名（連結）
国内7拠点、子会社3社
販売代理店5社
※2023年12月31日現在

## 2023年度業績

**売上高　3,930百万円**
**営業利益　209百万円**
**純利益　191百万円**
※12月決算

## 時価総額

**発行株式 3,171,500株**
**時価総額 約35億8千万円**
（8月30日時点の株価1,130円）

## 2023年度株主還元

**年間配当金 26円/株**
**株主優待 QUOカード贈呈**
- 100株～499株：2,000円相当
- 500株以上　：3,000円相当

※2023年度より配当方針変更及び株主優待制度を新設し、公表後、個人株主数が約5倍に増加

# 沿革

ODAWARA

**2020年**
㈱アズマの
事業を承継

**2009年**
ジャスダックに上場
（現：東証スタンダード市場）

**1979年**
小田原鉄工所を分社化
バス機器事業⇒当社（小田原機器）
機械設備等の電装事業⇒小田原エンジニアリング

**2017年**
㈱指月電機製作所の
情報機器システム事業を譲受

ソタシステム㈱を子会社化

**1950年**
創業
㈲小田原鉄工所 設立
富士写真フイルム様
機械設備下請

**1999年**
内製化強化のため、子会社の
㈱オーバルテック設立

**1952年**
㈱小田原鉄工所に改組

# 営業体制

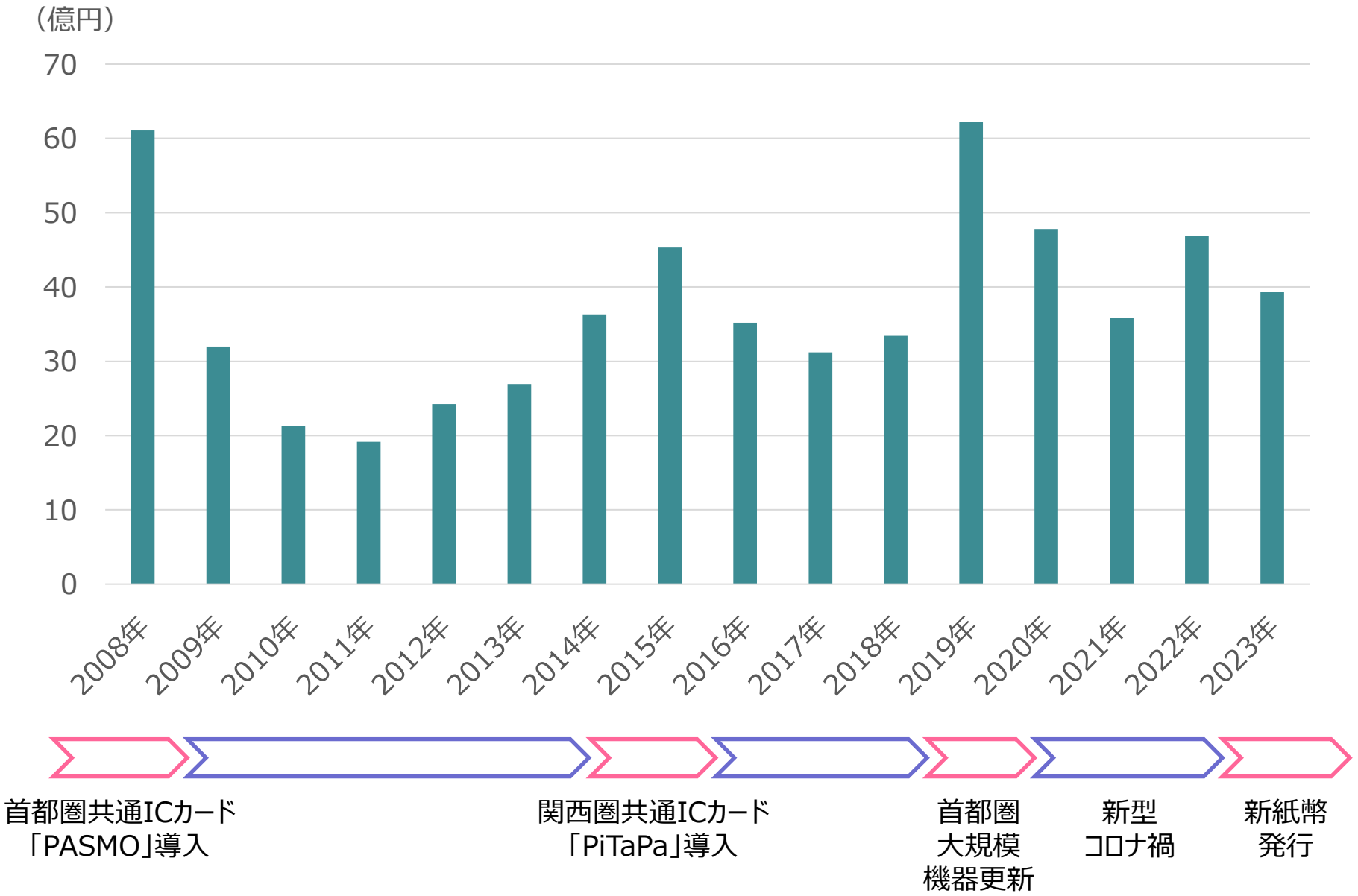
## ▶ 日本全国の地方自治体様・バス事業者様に納入しています

**主な取引先（抜粋・順不同）**

＜公営＞
- 名古屋市交通局 様
- 神戸市交通局 様
- 青森市企業局 様
- 川崎市交通局 様

＜民営＞
- 神奈川中央交通 様
- 茨城交通 様
- 大阪シティバス 様
- ジェイ・アール北海道バス 様

# 売上高の推移

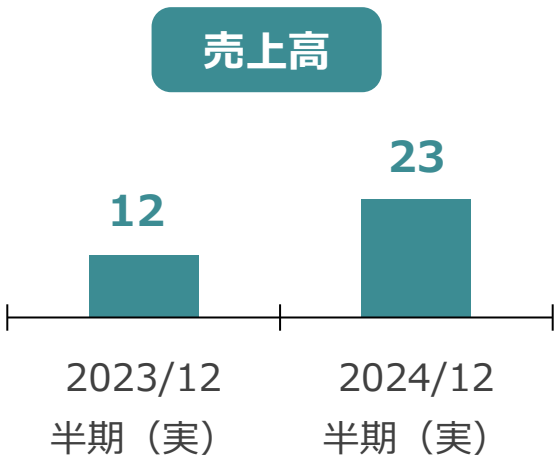

（億円）
70
60
50
40
30
20
10
0
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年
2023年
首都圏共通ICカード「PASMO」導入
関西圏共通ICカード「PiTaPa」導入
首都圏大規模機器更新
新型コロナ禍
新紙幣発行

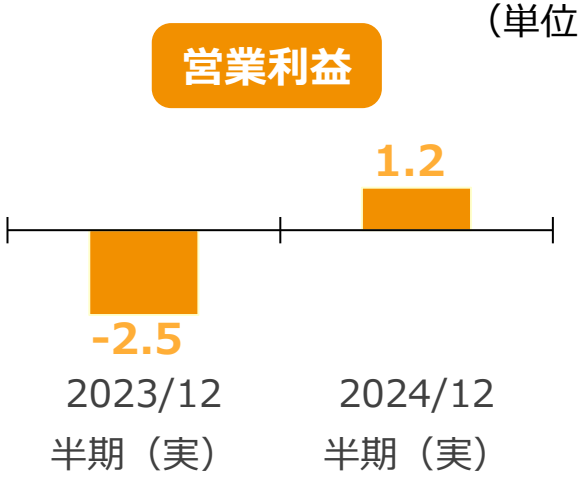
# 連結業績 前期比較

**新紙幣発行に伴う機器更新需要を取り込み、2024年12月期は前期比で増収増益を予想**

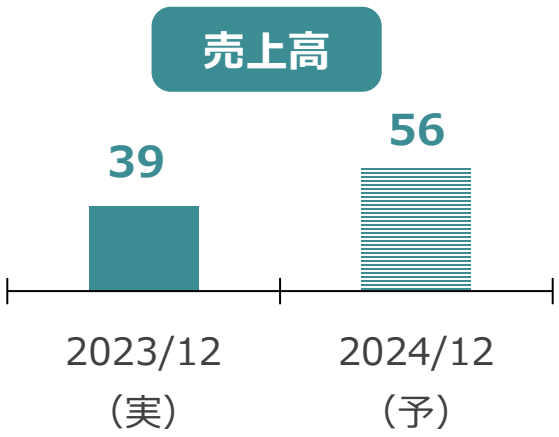
## ▶ 半期業績

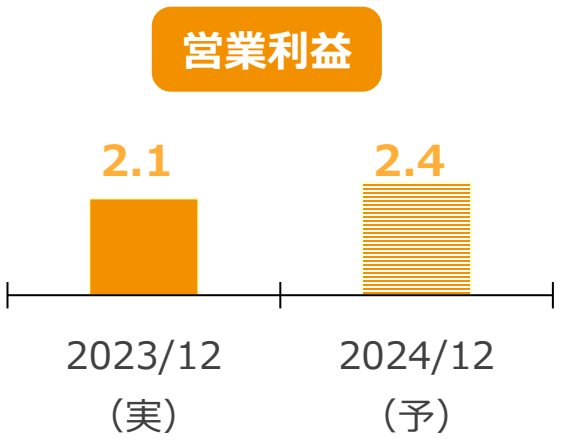
（単位：億円）



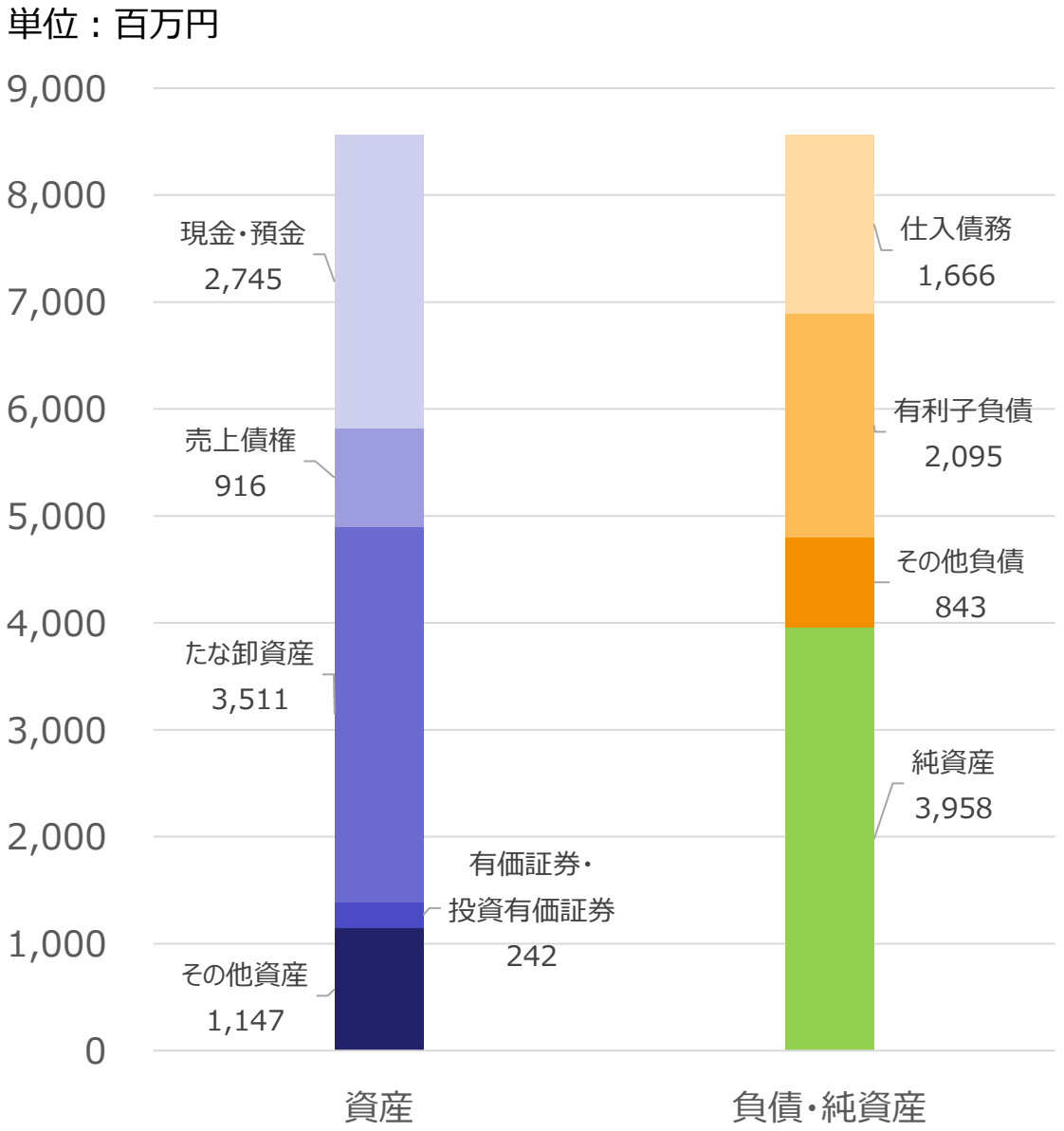

## ▶ 通期業績



# 貸借対照表　2024年6月末現在

| 単位：百万円 | | 2024年6月末現在 |
|---|---|---|
| 資産 | 現金・預金 | 2,745 |
| | 売上債権 | 916 |
| | たな卸資産 | 3,511 |
| | 有価証券・投資有価証券 | 242 |
| | その他資産 | 1,147 |
| | 合計 | 8,564 |
| 負債 | 仕入債務 | 1,666 |
| | 有利子負債 | 2,095 |
| | その他負債 | 843 |
| | 合計 | 4,605 |
| 純資産 | | 3,958 |
| 自己資本比率 | | 46.2% |



# 本日のプログラム

1. 会社概要
2. **事業セグメントと強み**
3. 成長戦略と業績計画
4. 資本効率の向上と株主還元
5. サステナビリティ方針

# 事業セグメントと強み

- 運賃箱やキャッシュレス決済端末など、バス運行に欠かせない機器・システムを手掛ける。
- さらに長年培った路線バス業界の知見を活用し、地域交通の課題解決に貢献する地域交通活性化コンサルティングを事業化。現在は、3つの事業セグメントを活用して、ビジネスを展開。

## 事業セグメント

## 強みと今後の課題

### 当社グループの強み

| | | |
|---|---|---|
| 全国に拡がる顧客基盤 | 培ってきたバス業界知見 | 全ての事業プロセスをグループ経営で完結 |

### 事業環境変化と今後の課題

| | | |
|---|---|---|
| キャッシュレス化加速 | ▶ | キャッシュレス決済の品揃え拡大 |
| 自動運転普及（運転手様不足） | ▶ | 自動運転に対応した次世代乗降システムの開発 |
| 地方の少子高齢化加速 | ▶ | 地域交通の課題解決に貢献する事業創出 |

# 事業セグメント S1 商品ラインナップ

ODAWARA

行先表示器

音声合成
案内装置

行先表示器

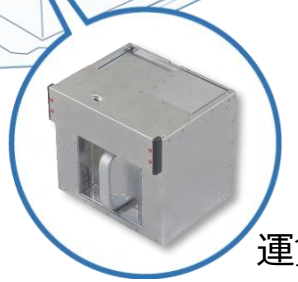
キャッシュレス
決済端末

行先表示器

運賃箱

運賃表示器

整理券発行機



運賃箱用金庫

## 鉄道用機器

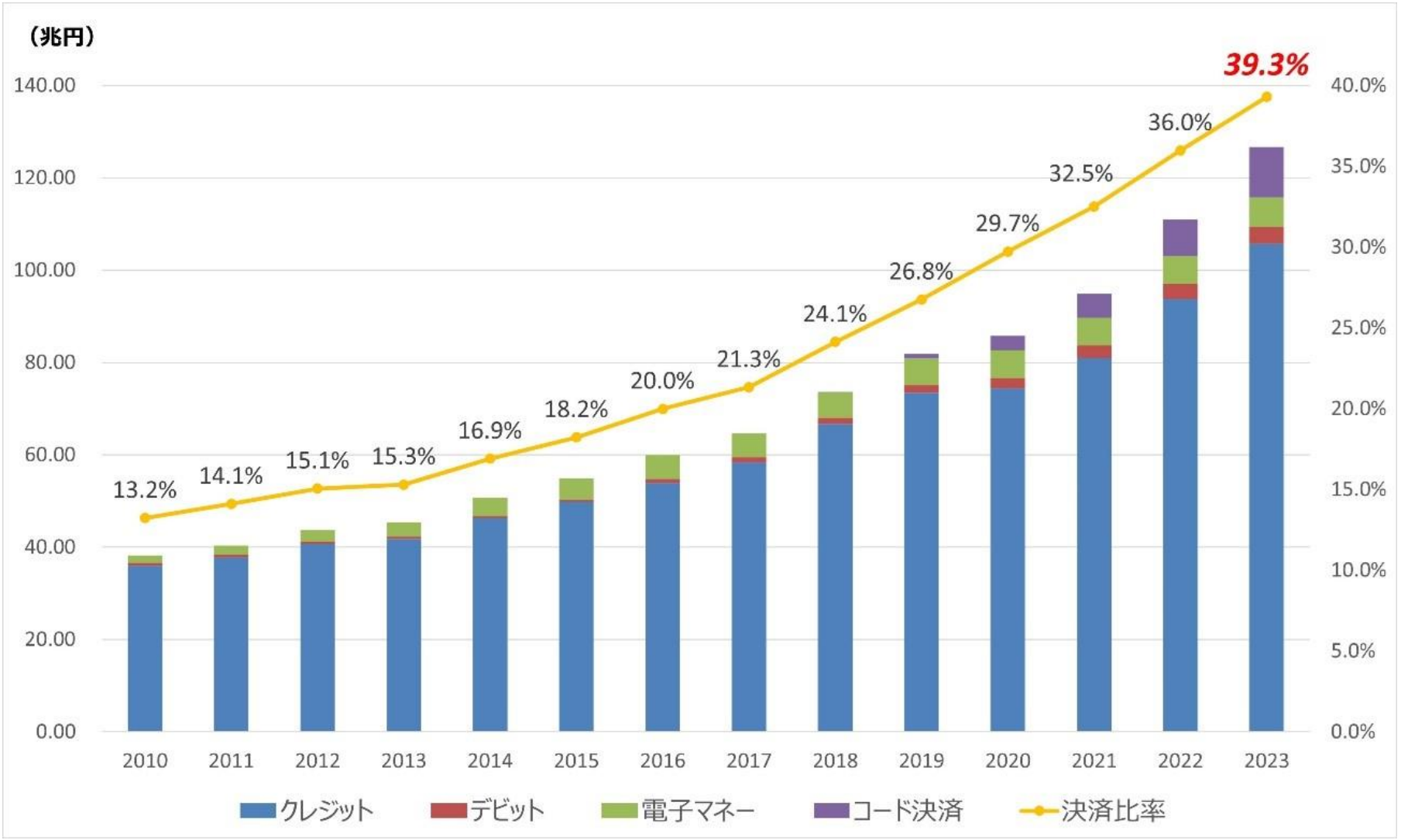
行先表示器

発車標

# キャッシュレス化の加速

ODAWARA

## ▶ 政府は、2025年にキャッシュレス決済比率40%を目指す




引用元：経済産業省

# 事業セグメント S1 主力運賃収受機器

## ▶ 新型運賃箱『FCM』

**支払い手段の多様化と小型軽量化を実現した新型運賃箱『FCM』が2022年度グッドデザイン賞を受賞**

GOOD DESIGN AWARD 2022

## ▶ マルチ決済端末『BOSS』

**車載器連動型キャッシュレス端末として、クレカタッチ、QRコード、ICカードの3つのキャッシュレス決済を1つの端末で実現**

沖縄八重山エリアのフェリーへの導入事例

# 事業セグメント S1　商品紹介動画

ODAWARA

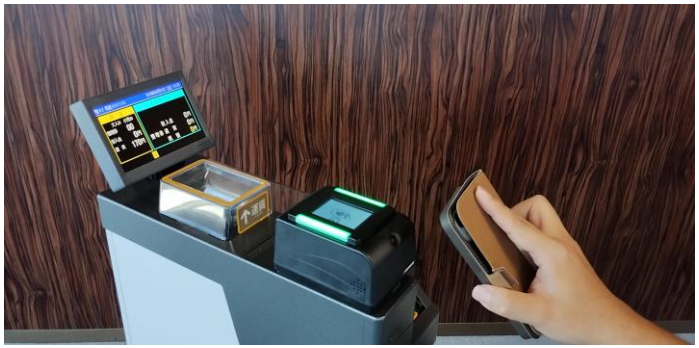
## ▶ 岩手県北自動車様

## ▶ 長電バス様

# 商品紹介動画

## ▶ 小田急電鉄様

## ▶ 茨城交通様



# 事業セグメント S2 マイナカードソリューション

ODAWARA

## ▶ 小田原市地域ポイントアプリ「ブラポ」

デジブラ城下町

観光アプリリニューアル

スマートポール導入

ブラポ
地域ポイントアプリ導入

**通りの魅力創出・防災対策など**

※小田原市様WEBサイトより引用

**マイナ認証・IDの発行**

地域に関わる全ての人たちの
生活・周遊をサポート

**1 周遊の“楽しみ”を作り“活動”を高める**

ポイント付与・利用・決済

プロモーション

**2 “全員参加型”で定着させる**

災害情報との連携

地域交通との連携

福祉設備情報の案内

荷物を預けてお得に身軽に周遊

**3 町の“安心”をつくる**

イベント主催・参加

まちづくり応援

関係者間の互助

リワード機能

# 事業セグメント S2 データサービスソリューション

ODAWARA

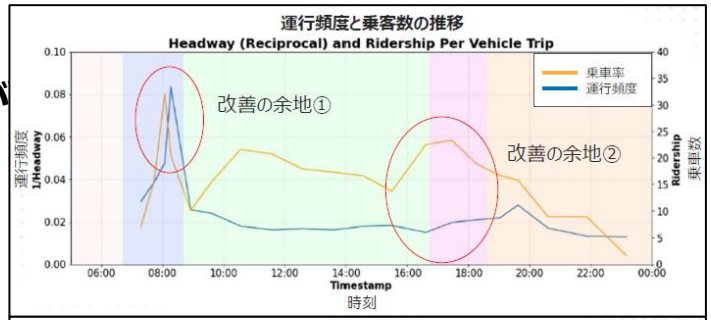
## ▶ 乗降データを収集・分析して価値あるデータを提供

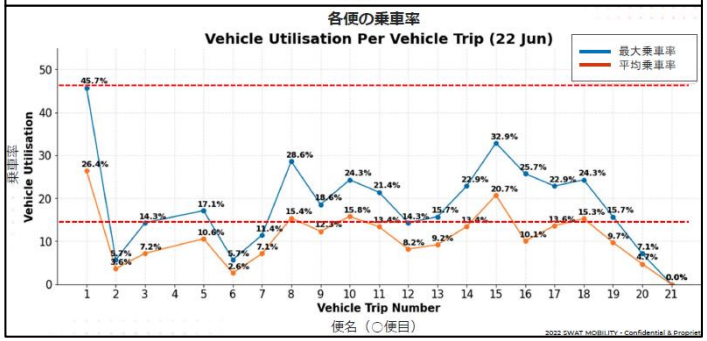
■ 路線バスは、域内移動に不可欠なインフラ。
しかし、2024年問題と言われる運転手様の時間外労働規制により、運転手様不足が深刻化し、バス路線の維持が困難となるなど、厳しい経営環境に直面。

■ “公共交通サービス維持”と“バス事業の健全な経営”の両立に向けて、運賃収受機器から得られる乗降データと他の移動データを組み合わせて活用し、より効率的に
■ バス路線を運営するための分析データを提供する。

小田原市様と交通政策の推進に関する協定を締結
※2022年8月

分析イメージ




▶ 時間帯・地域によるニーズとコスト最適化
▶ 定期運行とオンデマンドの組合せ
▶ 教育機関・ホテル・観光業者にデータ提供

# 本日のプログラム

1. 会社概要
2. 事業セグメントと強み
3. **成長戦略と業績計画**
4. 資本効率の向上と株主還元
5. サステナビリティ方針

# 中期経営計画2025の全体像

## 「持続的成長企業」を目指すための成長シナリオ
### 2020年1月から2025年12月まで6年間

**ビジョン**

- 社会：ストレスフリーな交通利用環境を提供
- 顧客：経営課題を解決し、新たな高付加価値を提供

**2025年 目標**

| 売上高 | 営業利益 | 営業利益率 |
|---|---|---|
| 75億円 | 8億円 | 10.0% |

**基本戦略**

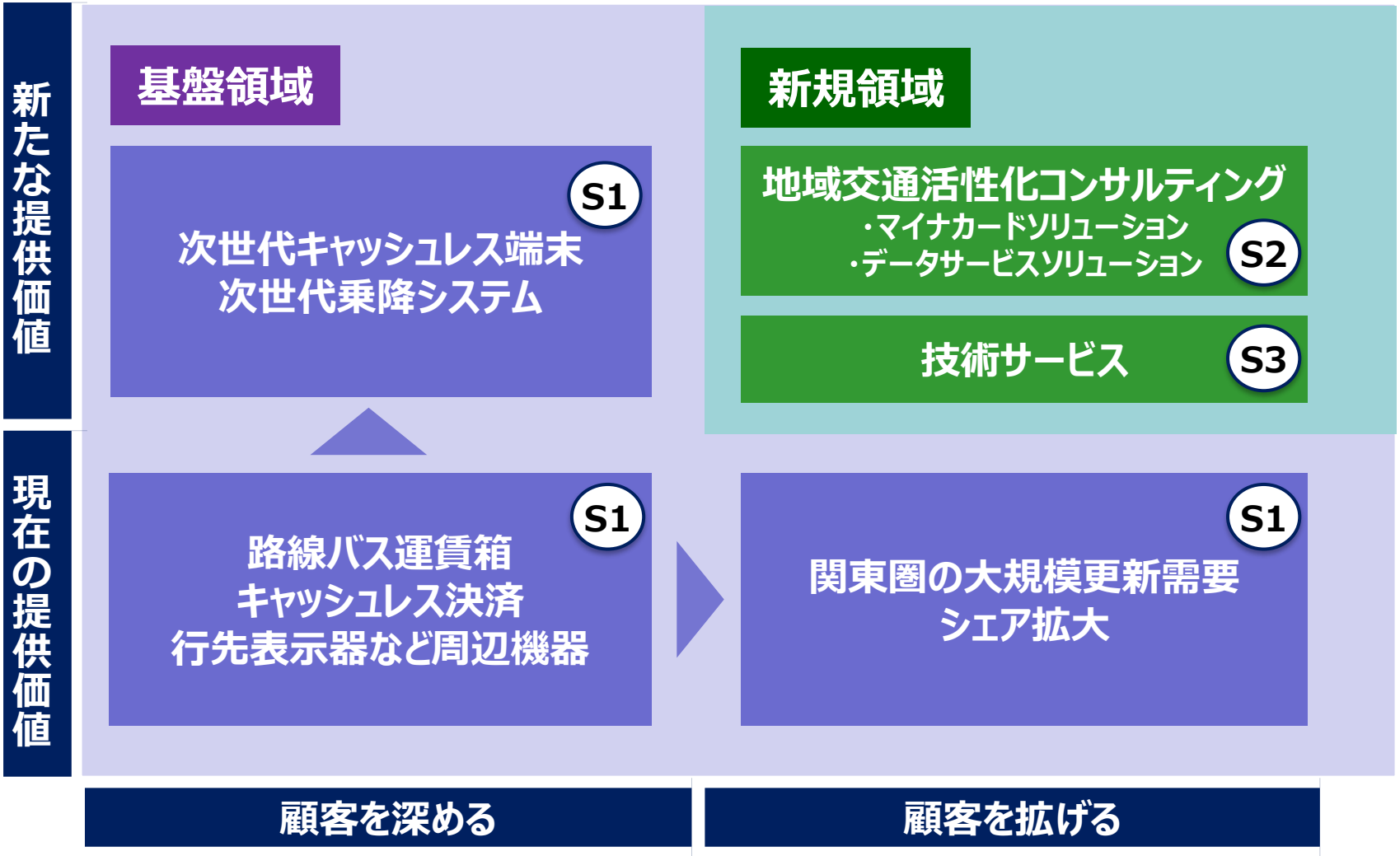
成長サイクルを回す

- 稼ぐ力の向上：事業プロセスの刷新
- 成長投資の強化：新規領域の創出・R&Dの強化
- 売上成長の加速：新規領域＋基盤領域で成長

# ドメイン戦略

ODAWARA

▶ 「基盤領域」の提供価値の拡大と、「新規領域」の創出で成長する



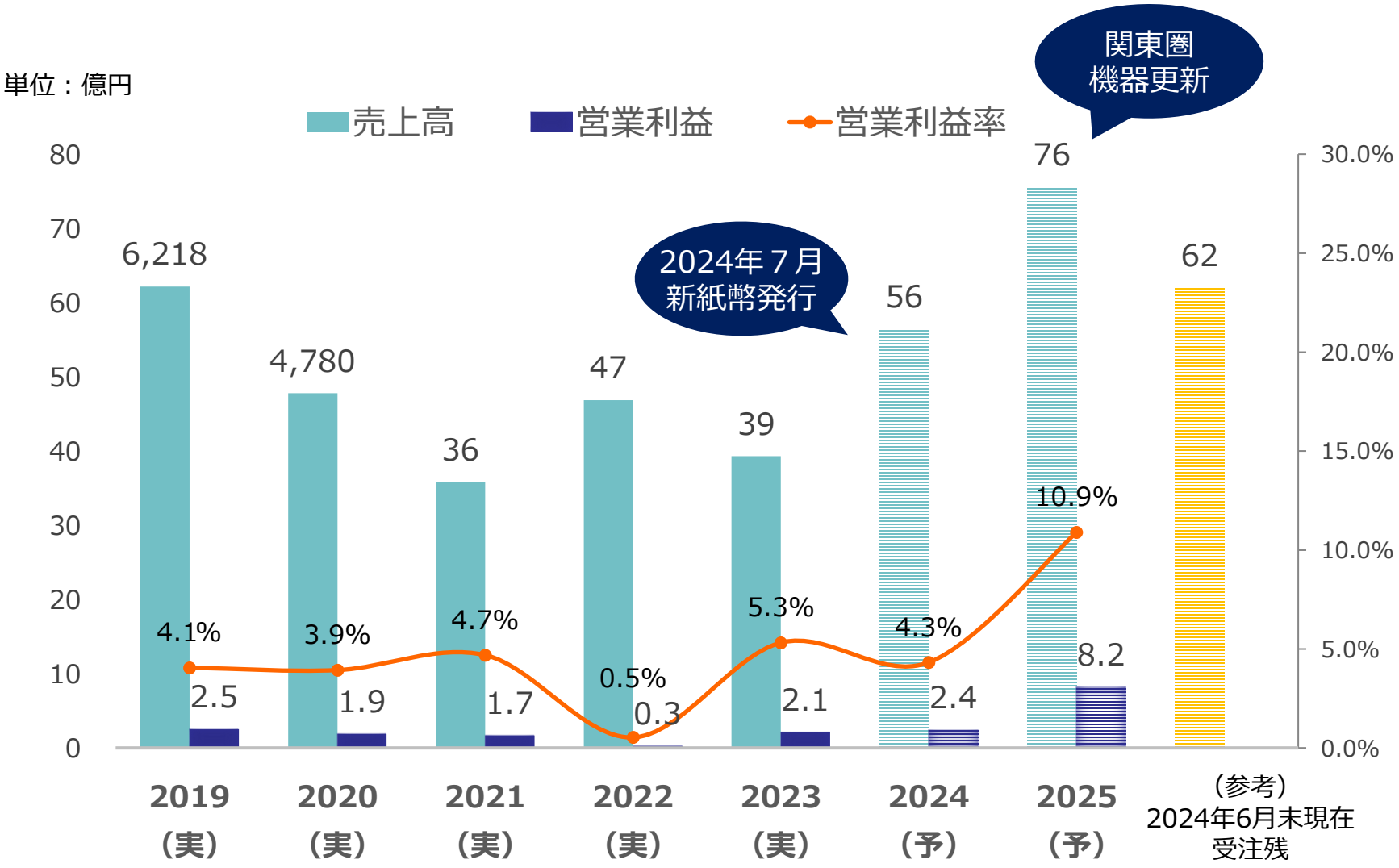
# 中期経営計画2025の投資計画

| 主な投資対象 | | | FY24 | FY25 |
|---|---|---|---|---|
| 事業プロセスの刷新 | デジタルトランスフォーメーション（DX） | | 2.7億円 | 3.0億円 |
| | 資材所要量計画による“ものづくり” | 仕様の標準化 | | |
| 新規領域の創出 | 地域交通活性化コンサルティング | | | |
| | 専門性の高い“とがり”人財増強 | ソリューション商材品揃え強化 | | |
| R&Dの強化 | 新規領域の創出と基盤領域のSOM拡大 | | | |
| | クラウド利活用技術の強化 | キャッシュレス決済端末の機能強化 | | |

※FY23実績 1.6億円

# 業績計画

単位：億円


売上高
営業利益
営業利益率
関東圏
機器更新
2024年７月
新紙幣発行
80
70
60
50
40
30
20
10
0
30.0%
25.0%
20.0%
15.0%
10.0%
5.0%
0.0%
6,218
4,780
36
47
39
56
76
62
4.1%
3.9%
4.7%
0.5%
5.3%
4.3%
10.9%
2.5
1.9
1.7
0.3
2.1
2.4
8.2
2019 (実)
2020 (実)
2021 (実)
2022 (実)
2023 (実)
2024 (予)
2025 (予)
(参考)
2024年6月末現在
受注残

# ポスト中計2025

ODAWARA

## 中計2025（FY20～FY25）

### シナリオ①
### 基盤領域における現在価値の拡大
S1

- 新紙幣対応
- FY25関東圏の大規模更新需要でSOM拡大

## ポスト中計2025（FY26～FY30）

### シナリオ②
### 新規領域における新たな事業の創出
S2

- マイナカードソリューション
- データサービスソリューション

### シナリオ③
### 基盤領域における新たな価値の提供
S1

- 次世代キャッシュレス端末
- 次世代乗降システム（自動運転Lv4）

# 本日のプログラム

1. 会社概要
2. 事業セグメントと強み
3. 成長戦略と業績計画
4. **資本効率の向上と株主還元**
5. サステナビリティ方針

# 資本効率の向上

| | 実行計画 | 2023年実績 | 2025年目標 |
|---|---|---|---|
| KPI | ROE | 5.0% | **8.3%** |
| | PBR | 0.8倍 | **1.0倍** |
| 施策 | 当期純利益率の改善 | 4.9% | **6.4%** |
| | 総資産回転率の改善 | 0.512回 | **0.900回** |
| | 株主還元の強化 | **2023年12月期より配当方針を変更** | |

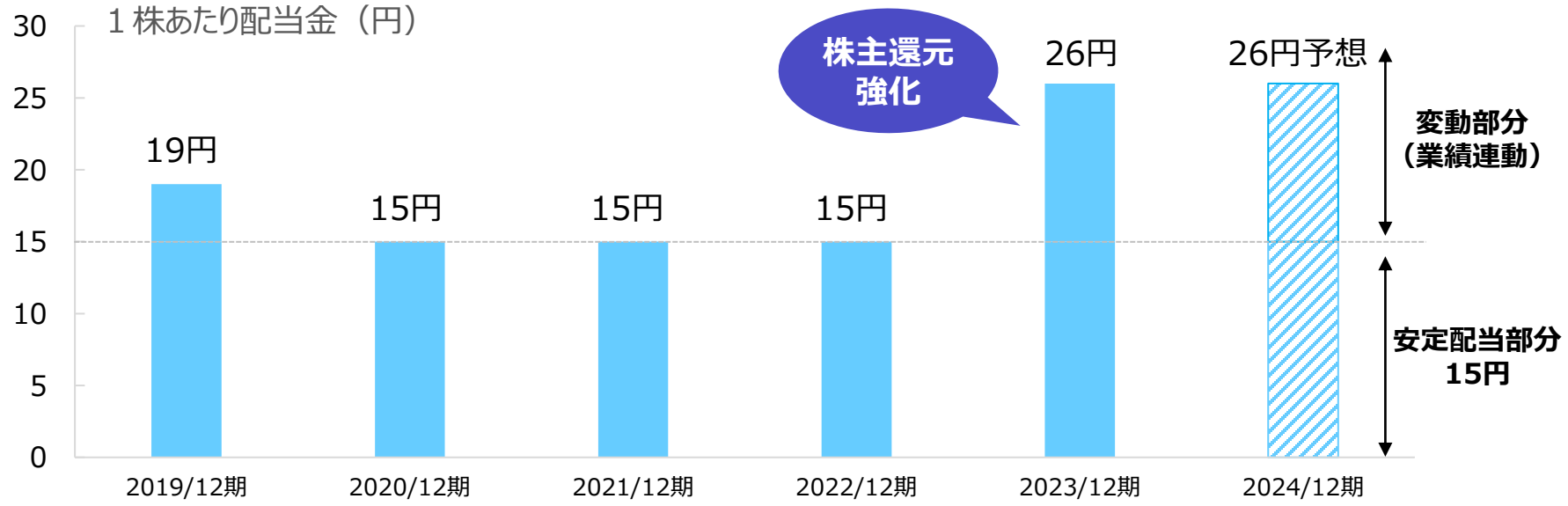
**当期純利益率の改善**
- 売上成長の加速
- 仕様の標準化によるものづくり改革
- 非効率な事業プロセスの刷新

**総資産回転率の改善**
- 変種変量生産体制の構築
- リードタイムの短縮
- 変動費の低減

**株主還元の強化**
- **配当性向30%（継続）**
- **1株あたり15円（継続）**
- **DOE 2.0%　（追加）**

**※いずれか高い金額を配当**

# 配当実績と予想




| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 配当性向 | 30.1% | 35.1% | 46.8% | - | 42.6% | 56.4%（予想） |
| DOE | 1.7% | 1.3% | 1.2% | 1.2% | 2.1% | 2.0%（予想） |

**〔配当方針〕**

- 下記のうち、いずれか高い金額を配当
  - **配当性向30%**
  - **1株あたり15円･･･業績にかかわらない安定配当部分**
  - **DOE2.0%**

**〔１株あたり配当金〕**

- 2023/12期　期末配当：DOE2.0%として１株あたり**26円**を配当
- 2024/12期　期末配当：DOE2.0%として１株あたり**26円**の配当予想

# 株主優待制度

## ▶ 対象の株主様にQUOカードを贈呈

■ **対象となる株主様**

**毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された当社株式100株（１単元）以上を保有されている株主様**

■ **株主優待の内容**

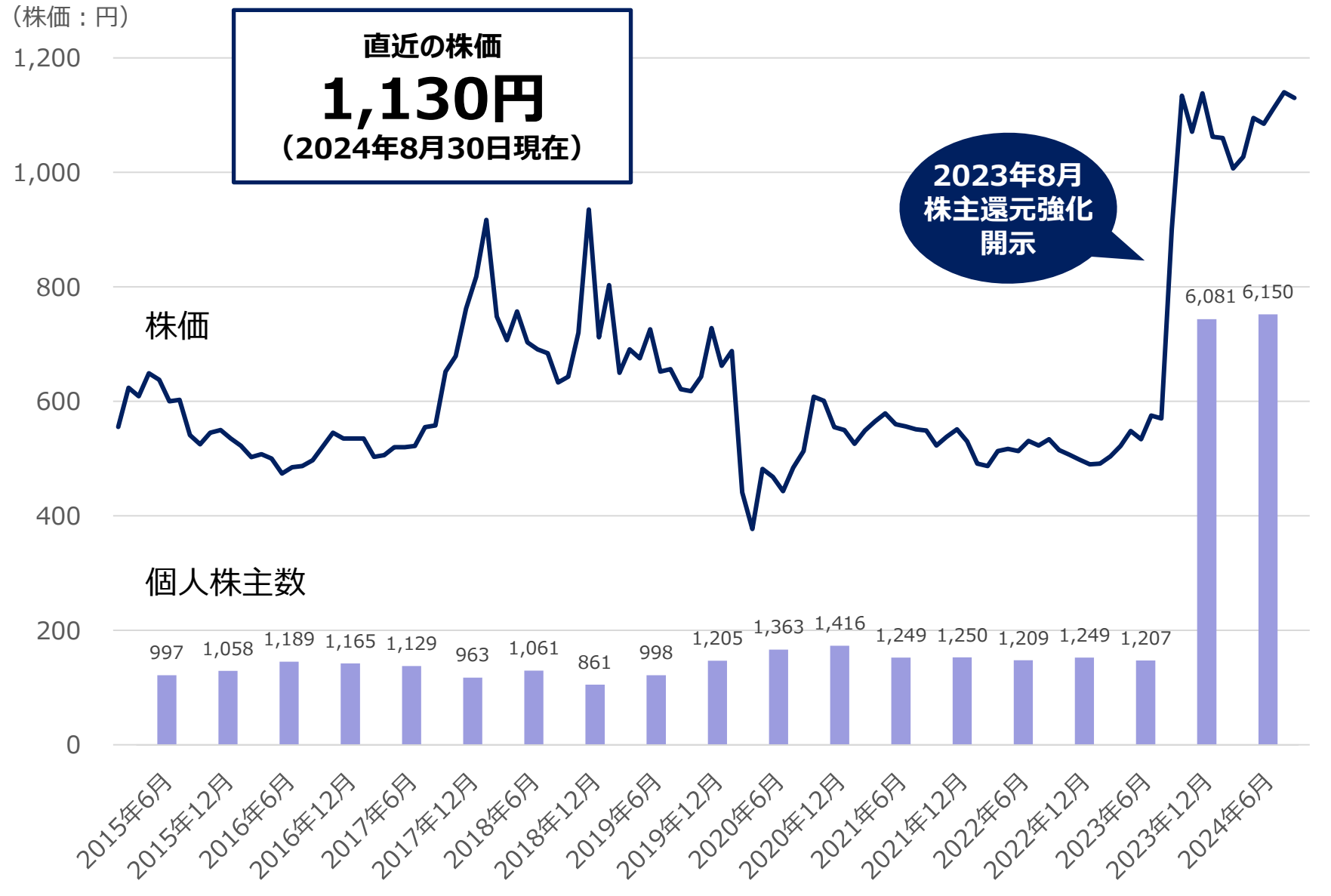
| ご所有株式数 | ご優待内容 |
|---|---|
| 100株～499株 | 2,000円相当のＱＵＯカード |
| 500株以上 | 3,000円相当のＱＵＯカード |

■ **贈呈の時期**

**毎年３月下旬にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送**

※実際に贈呈されるものとデザインが異なる場合があります

# 株価、個人株主数の推移


（株価：円）
直近の株価
1,130円
（2024年8月30日現在）
2023年8月
株主還元強化
開示
株価
個人株主数
1,200
1,000
800
600
400
200
0
997
1,058
1,189
1,165
1,129
963
1,061
861
998
1,205
1,363
1,416
1,249
1,250
1,209
1,249
1,207
6,081
6,150
2015年6月
2015年12月
2016年6月
2016年12月
2017年6月
2017年12月
2018年6月
2018年12月
2019年6月
2019年12月
2020年6月
2020年12月
2021年6月
2021年12月
2022年6月
2022年12月
2023年6月
2023年12月
2024年6月

# 本日のプログラム

1. 会社概要
2. 事業セグメントと強み
3. 成長戦略と業績計画
4. 資本効率の向上と株主還元
5. **サステナビリティ方針**

# サステナビリティ方針

ODAWARA

## ▶ 企業理念に基づく事業活動を通じて、持続可能な社会づくりに貢献する

| | サステナビリティ重要課題 | | 取組み |
|---|---|---|---|
| 環境 | 地球温暖化の防止 | ● 製品の小型化・軽量化・省電力化<br>● 自動運転を見据えた新たな運賃収受システム<br>● バス運行効率化による運行時間の削減 | ▶ EVバス車載機の開発<br>▶ 運賃箱レスの運賃収受<br>▶ データサービスソリューション |
| 社会 | 地域社会の活性化 | ● 移動ニーズの充足と運行コストの適正化<br>● 地域の人びとの生活や周遊をサポート<br>快適な街づくり | ▶ マイナカードソリューション<br>▶ データサービスソリューション |
| 社会 | 人的資本の価値向上 | ● 社員エンゲージメントの強化<br>● 社内人財のアップスキリング<br>働きがい向上 | ▶ 従業員RS支給 2024年5月<br>▶ 6つの人財別に育成 |
| 企業統治 | 透明性の高い経営 | ● 監査等委員会による業務執行の監査・監督<br>● 社外取締役を委員長とする指名・報酬委員会 | ▶ 業務執行への監督強化<br>▶ サクセッションプランの策定 |

- 本資料で開示されているデータ、将来予測、戦略、将来の見通しは、本資料の作成時点で入手可能な情報、見積、予想、期待や判断に基づいています。これらには、様々な不確実性が内在しており、実際の業績や結果は経営環境の変動等の諸要因により、異なる可能性があります。

- 本情報は、今後予告なしに変更されることがあります。情報および資料の利用は他の方法により入手された情報と共に照合・確認し、利用者のご判断にて行ってくださいますよう、お願いいたします。

- 本資料利用の結果生じたいかなる損害にも、当社は一切責任を負いません。投資に関するご決定をされる際は、ご自身の責任でご判断ください。

お問い合わせ先：
株式会社小田原機器
管理部　グループ経営企画室
TEL：0465-23-0121
FAX：0465-23-1288
HP：https://www.odawarakiki.com